



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社セキュアヴェイル 上場取引所 東
 コード番号 3042 URL http://www.secuavail.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米今 政臣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部マネージャ (氏名) 工内 健太郎 TEL 06-6136-0026
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,190	22.8	77	77.2	78	97.2	56	110.0
2019年3月期	969	16.8	43	290.5	39	763.0	26	291.1

(注) 包括利益 2020年3月期 56百万円 (109.2%) 2019年3月期 26百万円 (261.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	16.76	16.57	7.7	7.2	6.5
2019年3月期	8.14	7.97	4.4	4.5	4.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,123	766	67.7	224.78
2019年3月期	1,032	709	68.1	208.11

(参考) 自己資本 2020年3月期 760百万円 2019年3月期 703百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	94	5	△3	687
2019年3月期	123	△43	125	591

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	0	ー	ー
2020年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	0	ー	ー
2021年3月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00		ー	

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を現時点で算定することは困難であり、2021年3月期の連結業績予想は未定とさせていただきます。今後、算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	3,382,000株	2019年3月期	3,382,000株
2020年3月期	224株	2019年3月期	224株
2020年3月期	3,381,776株	2019年3月期	3,314,216株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	795	0.2	64	30.6	67	46.2	56	108.5
2019年3月期	794	△4.3	49	120.4	46	136.5	26	37.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	16.59	16.41
2019年3月期	8.12	7.95

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,014	777	76.0	227.95
2019年3月期	928	721	77.0	211.45

(参考) 自己資本 2020年3月期 770百万円 2019年3月期 715百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米中貿易摩擦等の国際情勢や、5年ぶりとなる消費税率引き上げによる下振れが懸念されておりましたが、それに加えて、世界的な脅威となった新型コロナウイルス感染症の拡大によって、国内外の経済活動が大きく停滞しており、先行きが極めて不透明な状況となっております。

当社グループの主たるビジネスである情報セキュリティ業界では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急速に導入されつつある在宅を前提としたセキュアなネットワークの構築や、コミュニケーション手段等への課題解決に取り組んでおります。

このような環境の下、当社グループは、強みとしている継続性の高いストック型サービス(セキュリティ運用監視サービス)の契約更新、セキュリティ運用支援ソフトウェア「LogStare® Collector」の拡販に注力し、安定した収益基盤の確立と、研究開発活動に取り組ましました。

しかしながら、当連結会計年度の後半におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による景気後退への先行き懸念が顕在化しており、長期の新規契約や契約更新については、少なからず影響を受けた状況になりました。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高は1,190,042千円(前年同期比22.8%増)となりました。また、当連結会計年度を通して経費削減を行った結果、安定した利益確保が可能となり、営業利益は77,519千円(前年同期比77.2%増)、経常利益は78,026千円(前年同期比97.2%増)となりましたが、ソフトウェア資産の減損損失7,139千円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,666千円(前年同期比110.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(a) 情報システム事業

当セグメントの主力であるセキュリティ運用監視サービスにつきましては、前連結会計年度並みに堅調に推移し、また受託開発におきましても、より継続性、収益力の高い案件へリソースをシフトさせており、当連結会計年度における売上高は1,061,604千円(前年同期比15.0%増)となりました。また、セグメント利益は164,419千円(前年同期比18.3%増)となりました。

(b) 人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、情報セキュリティ業界の慢性的な人手不足による需要に十分に答えられず、派遣人員総数が予定を下回りましたが、継続して人員を派遣することができた結果、売上高は128,438千円(前年同期比178.9%増)、セグメント利益は10,050千円(前年同期比131.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当連結会計年度末における流動資産は926,473千円となり、前連結会計年度末に比べ122,842千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が95,988千円、売掛金が24,960千円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は197,028千円となり、前連結会計年度末に比べ32,166千円の減少となりました。これは、有形固定資産が3,797千円、無形固定資産が17,569千円、投資その他の資産が10,799千円それぞれ減少したことによるものです。

以上により資産合計は、1,123,502千円となり、前連結会計年度末に比べ90,675千円増加いたしました。

(負債の部)

流動負債は308,274千円となり、前連結会計年度末に比べ41,541千円の増加となりました。これは主に、前受金が14,934千円、未払消費税等が16,011千円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は48,841千円となり、前連結会計年度末に比べ7,253千円の減少となりました。これは主に、長期借入金13,252千円減少したことに対し、長期未払金が5,000千円増加したことによるものです。

以上により負債合計は、357,115千円となり、前連結会計年度末に比べ34,287千円増加いたしました。

(純資産の部)

純資産は766,386千円となり、前連結会計年度末に比べ56,387千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が56,666千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、687,349千円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、94,112千円となりました。これには主に、税金等調整前当期純利益70,044千円、減価償却費16,506千円、売上債権の増加24,960千円、前受金の増加14,934千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、5,127千円となりました。これは、保険積立金の解約による収入14,383千円、関係会社株式の取得による支出5,500千円、有形固定資産の取得による支出2,066千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3,252千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出3,252千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期 (個別)	2017年3月期 (個別)	2018年3月期 (連結)	2019年3月期 (連結)	2020年3月期 (連結)
自己資本比率 (%)	75.3	74.5	73.7	68.1	67.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	309.9	345.3	425.7	276.4	192.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	0.3	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	227.4	119.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) 2018年3月期以前は有利子負債及び利払いがないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2017年3月期以前は参考情報として個別決算の指標を記載しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が様々な経済活動を停滞させており、極めて不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループの主たるビジネスである情報セキュリティ業界では、引き続き在宅勤務の推進や、生産性の向上を目的としたIT投資が加速することが予想され、有効的な情報セキュリティ対策はこれまで以上に必要とされております。

当社グループは引き続き、「我々はセキュリティサービス業である」という原点を意識し、従来から強みとしているログ分析、セキュリティ運用監視サービスを提供し続けることに努めてまいります。また、基幹システムの機能強化を加速させ、セキュリティ事業を継続してきたからこそ提供可能な、安全性(セキュリティの堅牢さ)と可用性(システムの利便性)を融合させたフルサポートサービスを展開してまいります。

当社グループのセキュリティ運用監視サービスは、24時間365日稼働しており、その稼働を維持するため、国内拠点の一部において在宅勤務に移行しております。政府や地方自治体の方針に従い、新型コロナウイルス感染症拡大防止と社員の健康・安全確保に留意しながら、運用監視サービスを継続しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い停滞した経済活動の回復時期の予測は大変困難であり、その時期次第では当社グループの業績に影響を与える可能性があり、2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	591,360	687,349
売掛金	163,628	188,589
仕掛品	869	4,063
原材料及び貯蔵品	—	294
前渡金	32,754	31,838
前払費用	14,370	13,278
その他	647	1,059
流動資産合計	803,631	926,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,737	14,181
工具、器具及び備品(純額)	23,710	19,469
有形固定資産合計	37,448	33,651
無形固定資産		
のれん	61,685	55,191
ソフトウェア	10,675	193
その他	667	72
無形固定資産合計	73,027	55,458
投資その他の資産		
投資有価証券	10,205	15,303
長期前払費用	963	710
差入保証金	47,026	47,026
保険積立金	44,791	32,099
繰延税金資産	15,731	12,779
投資その他の資産合計	118,718	107,919
固定資産合計	229,195	197,028
資産合計	1,032,826	1,123,502

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,375	38,424
1年内返済予定の長期借入金	3,252	13,252
未払金	31,414	25,989
未払費用	37,178	40,768
未払法人税等	5,841	11,569
未払消費税等	15,035	31,046
前受金	104,798	119,732
預り金	8,187	4,534
賞与引当金	20,649	22,955
流動負債合計	266,732	308,274
固定負債		
長期借入金	28,935	15,683
長期末払金	—	5,000
退職給付に係る負債	19,135	20,133
資産除去債務	8,024	8,024
固定負債合計	56,094	48,841
負債合計	322,827	357,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,670	485,670
資本剰余金	181,873	181,873
利益剰余金	35,251	91,917
自己株式	△123	△123
株主資本合計	702,671	759,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,108	829
その他の包括利益累計額合計	1,108	829
新株予約権	6,219	6,219
純資産合計	709,998	766,386
負債純資産合計	1,032,826	1,123,502

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	969,481	1,190,042
売上原価	543,790	733,090
売上総利益	425,690	456,952
販売費及び一般管理費	381,955	379,433
営業利益	43,735	77,519
営業外収益		
受取利息	84	121
受取配当金	24	25
雑収入	123	1,174
営業外収益合計	232	1,321
営業外費用		
支払利息	542	786
新株予約権発行費	3,400	—
雑損失	451	28
営業外費用合計	4,394	814
経常利益	39,574	78,026
特別損失		
減損損失	—	7,139
事業所移転費用	18,821	—
固定資産除却損	—	841
特別損失合計	18,821	7,981
税金等調整前当期純利益	20,753	70,044
法人税、住民税及び事業税	3,059	10,303
法人税等調整額	△9,287	3,074
法人税等合計	△6,227	13,378
当期純利益	26,980	56,666
親会社株主に帰属する当期純利益	26,980	56,666

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	26,980	56,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△278
その他の包括利益合計	△24	△278
包括利益	26,956	56,387
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	26,956	56,387
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	410,800	107,002	8,270	△123	525,949
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	74,870	74,870			149,741
親会社株主に帰属する当期純利益			26,980		26,980
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	74,870	74,870	26,980	—	176,721
当期末残高	485,670	181,873	35,251	△123	702,671

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	其他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,132	1,132	200	527,282
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)			△1,781	147,960
親会社株主に帰属する当期純利益				26,980
新株予約権の発行			7,800	7,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△24	△24		△24
当期変動額合計	△24	△24	6,019	182,716
当期末残高	1,108	1,108	6,219	709,998

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	485,670	181,873	35,251	△123	702,671
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					—
親会社株主に帰属する当期純利益			56,666		56,666
新株予約権の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	56,666	—	56,666
当期末残高	485,670	181,873	91,917	△123	759,338

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	其他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,108	1,108	6,219	709,998
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				—
親会社株主に帰属する当期純利益				56,666
新株予約権の発行				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△278	△278		△278
当期変動額合計	△278	△278	—	56,387
当期末残高	829	829	6,219	766,386

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	20,753	70,044
減価償却費	31,077	16,506
のれん償却額	3,246	6,493
減損損失	—	7,139
新株予約権発行費	3,400	—
事業所移転費用	18,821	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	674	998
賞与引当金の増減額(△は減少)	819	2,306
受取利息及び受取配当金	△109	△146
支払利息	—	△786
固定資産除却損	—	841
売上債権の増減額(△は増加)	23,907	△24,960
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,132	△3,488
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,584	△1,950
前受金の増減額(△は減少)	30,264	14,934
その他	12,715	9,999
小計	143,119	97,931
利息及び配当金の受取額	107	146
利息の支払額	—	786
事業所移転費用の支払額	△18,821	—
法人税等の支払額	△1,868	△4,752
法人税等の還付額	910	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,448	94,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,300	△2,066
無形固定資産の取得による支出	△7,607	—
資産除去債務の履行による支出	△12,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△23,649	—
関係会社株式の取得による支出	—	△5,500
敷金の差入による支出	△10,280	—
敷金の回収による収入	16,429	—
保険積立金の解約による収入	—	14,383
その他	△1,385	△1,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,294	5,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	147,960	—
新株予約権の発行による支出	4,400	—
長期借入れによる収入	13,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,739	△3,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,621	△3,252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	205,775	95,988
現金及び現金同等物の期首残高	385,585	591,360
現金及び現金同等物の期末残高	591,360	687,349

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	923,424	46,057	969,481	—	969,481
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16,776	16,776	△16,776	—
計	923,424	62,834	986,258	△16,776	969,481
セグメント利益	138,966	4,335	143,302	△99,566	43,735
セグメント資産	752,531	33,542	786,073	246,752	1,032,826
その他の項目					
減価償却費	29,782	7	29,789	1,287	31,077
のれんの償却額	3,246	—	3,246	—	3,246
持分法適用会社への投 資額	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	74,699	—	74,699	355	75,054

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	情報システム事業	人材派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,061,604	128,438	1,190,042	—	1,190,042
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,814	2,814	△2,814	—
計	1,061,604	131,253	1,192,857	△2,814	1,190,042
セグメント利益	164,419	10,050	174,469	△96,950	77,519
セグメント資産	844,856	43,029	887,885	235,616	1,123,502
その他の項目					
減価償却費	15,890	—	15,890	616	16,506
のれんの償却額	6,493	—	6,493	—	6,493
持分法適用会社への投 資額	10,000	—	10,000	—	10,000
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,605	—	7,605	2,009	9,615

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「情報システム事業」において7,139千円であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	208.11円	224.78円
1株当たり当期純利益	8.14円	16.76円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	7.97円	16.57円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,980	56,666
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	26,980	56,666
普通株式の期中平均株式数(株)	3,314,216	3,381,776
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	72,270	37,192
(うち新株予約権(株))	(72,270)	(37,192)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使)

当連結会計年度終了後、当社が2018年9月18日に発行した第6回新株予約権について、新株予約権の行使が行われております。2020年4月1日から2020年5月11日までの新株予約権の行使の概要は以下のとおりであります。

- (1) 行使された新株予約権の個数 4,630個
- (2) 発行した株式の種類及び株式数 普通株式 463,000株
- (3) 資本金増加額 141,909千円
- (4) 資本準備金増加額 141,909千円

以上により、2020年5月11日現在の発行済株式総数は3,845,000株、資本金は627,580千円、資本準備金は323,782千円となっております。